

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

事業所番号	0190400671		
法人名	医療法人 北武会		
事業所名	グループホーム ほくとⅡ		
所在地	札幌市手稲区手稲本町3条4丁目2番5号		
自己評価作成日	令和2年9月10日	評価結果市町村受理日	令和2年12月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL [https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action\\_kouhyou\\_detail\\_022\\_kihon=true&JigyvoCd=0190400671-00&ServiceCd=320](https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyvoCd=0190400671-00&ServiceCd=320)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部		
所在地	札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階		
訪問調査日	令和2年10月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

建物全体、1階から3階まで法人名は違っておりますが、全てがグループホームのユニットとなっております。入退去者の確保や全体での行事・防災訓練等、力を合わせ協力して実行しております。新型コロナウイルスの影響もあり、各階への行き来、行事等を一緒に行うなどの事は今の時点では不可能ですが、コロナが終息を迎えたら入居者様同士の交流も深めて行こうと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、札幌市手稲区の市街地に位置し、JR手稲駅南口から徒歩圏内で、3階建ての1階と2階にある3ユニットのグループホームである。国道5号線沿いで、近隣にコンビニや飲食店があり利便性のよい地区である。建物内は、病院転用型で3階にも同法人の2ユニットのグループホームがあり、2階には渡り廊下で特別養護老人ホームが併設している。1階には多目的スペースがあり、介護予防センターなど地域の活動に開放している。ホーム内は、リビングや食堂、廊下、居室、職員休憩室など全て広くゆったりしている。法人は、医療法人だが社会福祉法人などを含めて幅広い業容展開をしている法人グループで、病院や老健施設、特養老人ホームも5ヵ所運営しており、地域への貢献度が高い。利用者は、広いリビングの大きな窓から手稲の街並みを一望しながら、ゆったりと寛いで毎日を過ごしている。認知症高齢者の複合的な支援施設として、これからも期待したい。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果		項目	取組の成果	
	↓該当するものに○印	↓該当するものに○印		↓該当するものに○印	↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	昨年度までは管理者共々ホームの理念に関して無関心な部分があったが、今年度より朝の申し送りの際に、毎日理念を唱和することに努め、管理者と職員間での理念の共有が実践出来ています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの影響もあって、普段であれば事業所事体が地域の一員としての活動を行っているが、残念ながら現在のところは休止状態となっています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方たちにとって認知症という病気は自分にとって縁遠い病であって、患うこともなく終えものとの考えの方が殆どではないかと思ひ、見えています。いざそうなった時の為にも事業所のバックアップ体制を整えて行きたいと思っております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	町内会の各役職の方・包括センターの方たちが参加されることもあり、他の事業所の情報などを教えて戴き、真似出来るものはサービスの向上に取り入れるよう心掛けています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	前年度は札幌市におけるグループホーム協議会などや手稲区に関しては地域のグループホームの集まりなどがあり、様々な取り組みや協力関係を築いていたが、今年度は無理な状況となっています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては昨今も大変厳しい目が向けられている事は、介護に従事している者として重々感じております。何故身体拘束がいけないのか、その事が後々どのような影響を利用者様に及ぼすのか、些細な事が大きな事へ発展して行く事なので十分留意してケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	まずは何がご本人にとって虐待となるのか、こんな小さな事、と思ひ見過ごしがちなことも職員同士が目を光らせ、告げ口ではなく、気づきと向上の機会と考えてもらい、注意を払い防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に保佐人を利用されていたり、成年後見制度を利用したいと言われているご家族も現実にはいっしょにいますが、金銭的なことが絡むこと故、中々こちらとしても中に入っの支援は難しいところがあります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には十分に必要な説明事項を予め書き出し、説明不足とならない様常に注意しております。又、何度もご不明な点やご家族様が不利をお考えになるような事を尋ね、ご理解と納得を頂くように努めております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置し、苦情があった場合には会議に於いて苦情の原因となった事由や環境的・人間的な要素を管理者で話し合い、反省すべき点は反省を行い、その話し合いの結果を玄関の掲示板に張り出しております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全く無茶な意見を申し出る職員も居ない訳ではないのですが、そんな意見を言い出した理由を深く掘り下げて聞き出し、運営に反映させている積りです。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働条件等についての権限はないので、そのような意見を聞いたとしてもその場で答えの出る問題ではありませんが、いかに遣り甲斐があり、其々が向上心を持って働けるようになる職場状況を整えています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	中々現場に立ち会う機会が少なく、職員の力量や本領を発揮している場面を把握出来ないが、法人外の研修には積極的に参加できるように心配りしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	今現在としては他のホームの方に会う事も儘ならない状態ですが、以前一緒に働いていた職員からの職場交流の誘いを受け、是非一度終息を迎えたら見学に行きたいと思っております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前のアセスメントで把握している情報の他にも、実際にホームへ入居されてみてご本人が不安に思われている事や困り事について、話しやすい雰囲気と関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居を希望されて見学に来られた際に、まずは十二分にご家族のお話を聞く事に努め、更にその後のケアプラン作成前にも前回より掘り下げた内容での聞き取りを行い、傾聴しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に他のサービスも色々あることをご紹介します、其々の特徴をご説明しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自分で出来ることはご自分でして頂く一方で、ご本人の希望されることを共に行う関係性を築く努力をしています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人に何かあった場合、健康面や精神面に於いて常に連絡を取り合い、情報を共有し力を合わせてご本人を支えて行く努力をしております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人のお好きな場所や仲の良かった友人の方の話などをされた際には、ご家族にそのことをお伝えし、可能な限りで連絡を取って頂いたりしております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	中には気の合う、合わないと言った関係性のご利用者様も居ない訳ではありませんが、ご利用者様が望む形での関わり合いを持てるように支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られた方の情報を得るように心掛けております。又、折に触れ、お便りなどを差し上げてご様子を伺うこともしております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	あくまでもご本人の希望やご意向に沿うように予め把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の生活歴は現在のご本人を形作る上でも大きな要因となります。その事を十分に踏まえた上での対応を心掛けています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居されてから暫くの間はご本人のペースにて生活して頂きながら、徐々にホームでの生活のリズムに合わせて載ける部分を把握する努力をしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護の経験のない職員もベテランの職員も混じり合っのチームの中での話し合いの中で、思わぬアイデアが提案されたりするので、思い込みを無くした中で忌憚のない意見や情報の交換を心掛けて介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	特に排泄や食事等、留意すべき点を記録に落とし、書き入れない場合には作成した追加の用紙に記入してもらい、情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族も長い間には色々変化されることがあるので、その場合は状況を把握し、そのことでご本人に影響が考えられる場合にはご家族ともよく相談し、柔軟に対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を活用したいと考えていたが、新型コロナの影響で生活や活動の場が狭まってしまっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回の訪問診療の他に何か利用者様に変化があれば、迅速に医療との連携を取っています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	重篤な特変でない時には、まずは看護職員に報告、連絡、相談を行い、共に観察して適切なその後の対応を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様も含め、ご家族にとっても入院は特別なことで不安な要因が沢山あるが、相談員との密な情報の共有に依って、少しでも早く快癒し退院に繋がるように関係作りを行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	看取りについての説明は入居時の契約の際に行っているが、ほぼ全てのご家族様、ご本人様には延命措置などについての情報は頂いていないのが現状です。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	訓練は中々実行出来ていないが、急変や事故発生の際の手順についてはいつでも見て貰えるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進委員会などを通じて地域の方との交流を深め、会議の中で様々な災害に於ける対応を話し合ったり、職員には防災訓練を通じて安全に避難する方法を習得してもらう努力を行っています。		

#### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格や誇り、プライバシーの確保に関しては常々職員には指導を行っているが、それが全ての職員に浸透し、実行出来ているとは言い難い部分もあります。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まずはご本人が何を望んでいるのかを探り、意思の確認をするように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	ご利用者様を最優先しなくてはならないという事は職員も周知している事とは思いますが、矢張り業務の遅れを気にしてそちらを優先してしまう傾向にあると思見えています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員の中に、ご利用者様のお好みをしっかり把握されている者がいるので、その方らしい服装や新しい衣服を購入する際には色々アドバイスをしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の内容に関しては、献立はサイクルでの提供となっており、お一人お一人のお好みに応えることは難しいが、食事しやすい環境や食べ物の状態には気を配っております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食が進まない方にはお声がけをしたり、食べやすい量や形態にしたり、又、水分や食事の量は一日を通して一覧表に記入しており、一日の過不足が人目で把握出来るようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の方は食事後に外して戴き、ブラシでの洗浄を行い、其の後口腔スポンジでの仕上げを行っています。又、ご自分の歯の方に関しては歯ブラシでの歯磨き等、見守りしながら行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄での失敗はご本人のプライドを大変傷つけてしまう為、声掛けや誘導の際の対応には留意しています。そうした失敗を防ぐ意味でも定期的なトイレの声掛けなどを実施しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	同じ食べ物を召し上がっていても、便秘になる方と快便の方がおられます。その方に合った方法での便秘の解消に努めております。下剤もなるべく使用しないで済むように、少しでも決めた時間での排便の習慣をつけて下剤の減薬に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	全てのご利用者様のご希望に添う事は中々難しい部分が多いのですが、なるべく入浴の時間帯などに関しては希望に添えるよう順番等を考えながら支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人お一人の夕食以降の時間の過ごし方に応じて、眠剤などの服用時間を考えて飲んで頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎回薬の内容が変わる方もいらっしゃる為、完全に用法・用量について理解することは難しいと思われませんが、薬の内容や量・形態が錠剤から散剤になった等の情報は連絡帳にて周知してもらっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	こちらで出来る範囲、用意出来る中での楽しみ事の支援は行っていますが、殆どの方は希望される楽しみ事や気分転換になるような事がないと言われてしまい、張り合いや喜びのある生活とは言えないかも知れません。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	昨年までは天候の良い日に施設の周囲を1, 2名ずつ散歩に行っていました。その後は冬道となったり、人手不足が重なり、緊急の受診などの際にはご家族・ご本人の送迎にのみの対応となっております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人より希望のあった場合には、ご家族とも相談し、高額ではない程度の金額での所持をして頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話の取次ぎや手紙等のやり取りなど積極的に支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間に関してはお一人お一人でお好みが変わっておりますが、なるべく皆さまのご意向を取り入れ、気にされる掲示物は外したり、フロアでは落ち着いて過ごされるようクラシックのピアノ演奏のCDを流しております。又、季節ごとの飾りものなど職員と共に製作・飾りつけして頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お一人でテレビをご覧になるのがお好きな方にはそのように、お喋りのお好きな方たちには気の合った方と一緒に会話を楽しんで頂けるようにと銘々が各々お好きな時間を過ごして頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に新しいものを揃えて頂くのではなく、ご自宅でお使い頂いていた馴染みの品をご持参頂くようご家族に説明しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人歩きに不安のある方は手摺を使用して頂く、トイレの場所が分かり辛い方には大きな字と表示物で行きたいところに自由に気兼ねなくいけるように工夫しております。		